



おしどりづか  
鴛鴦塚 (天桂寺)



下小田井村絵図 (複製)



枇杷島小橋の橋杭

清須は、庄内川や新川・五条川が南北に流れ、江戸時代以降は農業用水路や悪水路が縦横に張り巡らされていました。川や堀割は水運や生活のためには必要不可欠のものです、一方で陸上交通を遮断する存在でした。しかし、川に橋が架けられることによって、人々の往来が可能となり、地域と地域を結ぶ重要な結節点となっていました。

今回の展示では、清須の江戸時代の道と橋について絵図や伝説・伝承を通じて紹介します。



枇杷島橋

(小学校3・4年生社会科副読本『わたしたちの町と暮らし』平成5年西枇杷島町教育委員会より)

2022 1/8 (土)  
～ 2022 3/21 (月・祝)

清須市歴史資料展示室(清須市立図書館内)

所在地: 〒452-0961 清須市春日夢の森1番地

開館時間: 午前10時から午後7時まで

休館日: 月曜日(当該月曜日が休日の場合は次の平日)  
館内整理日(1月28日<金>、2月25日<金>)

観覧料: 無料

問い合わせ先: 清須市教育委員会生涯学習課(南館1階)  
電話 052-400-2911(代表)

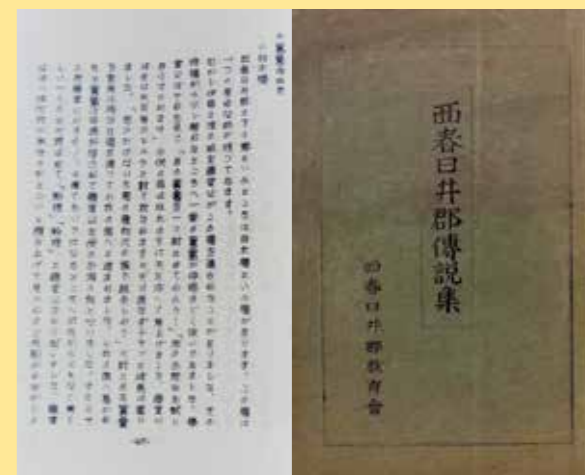
江戸時代の清須の道と橋  
— 古地図・伝説・伝承から —



(仮)名古屋城下図(複製)



現在の灰取街道



でんせつしゅう  
西春日井郡傳説集

交通アクセス



電車の場合

- ◎JR 東海道本線清洲駅下車 徒歩約20分
- ◎「きよすあしがるバス」ブルールート又はサクラルート「夢広場はるひ(図書館・美術館)」停留所下車
- ◎名鉄名古屋本線新清洲駅下車 タクシーで約10分



お車の場合

- ◎名古屋第二環状自動車道(名二環)清洲東ICより約5分
- ◎名神高速道路一宮ICより約20分
- ◎名古屋高速道路一宮方面からは春日出口より約5分、名古屋方面からは清須出口より約5分

